



2022年11月8日

各位

会社名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長 中西 勝也
(コード:8058、東証プライム)
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
岡本 卓馬(03-3210-2171)

剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議したと共に、期末配当予想の修正を行うことといたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月10日公表)	前期実績 (2022年3月期第2四半期末)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	77円	75円	71円
配当金の総額	112,715百万円	—	105,055百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月10日公表)	75	75	150
今回修正予想		78	155
当期実績	77		
前期実績 (2022年3月期)	71	79	150

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の配当は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 修正の理由

当社は、「中期経営戦略 2024」において、持続的な利益成長に応じて増配を行う累進配当を基本方針としています。2022年5月10日開催の当社取締役会決議に基づいた自己株式の取得が完了し、配当金の支払対象となる株式数が減少したことや、将来の持続的な利益の成長期待なども踏まえ、1株当たり年間配当予想額を期初見通しの150円から5円増額の155円に修正いたしました。また、2023年3月期の中間配当についても、1株当たり年間配当予想額の約半分とし、1株当たり77円とすることを本日開催の取締役会で決議いたしました。

以上